

成人職業訓練コースに関する一考察

職業訓練大学校 職業訓練研究センター

研究員 戸田勝也

序 文

昭和44年職業訓練法の改正によって公共訓練校に生涯訓練の重要な一翼を担う成人訓練コースが開設されるようになってから早くも10年を経過した。この間、一部都府県においては関係者の非常な御努力によって公共訓練の中で成人訓練が重要な役割を演じるまでに成長しているが、全体としては成人訓練はまだ離陸以前の状況にある。その背景には実施体制に関連した多くの問題があるが、とりわけコース設定の難しさが指摘されている。換言すれば在職技能労働者に魅力のあるメニューを作る難しさである。

本資料は、このような問題点を検討するための第一次接近として、本センターの戸田勝也研究員が、成人訓練先進県と目されているいくつかの県のうちから5県を選び、足で集めたデータを整理したものである。限られた情報源の中からではあるが、成人訓練のコースの類型化を試み、例えば単発的实施に終わったコースについて個々のコースごとに何故単発型に終わったかを追求しているところなどは、訓練現場でも参考にして頂けるのではないかと思う。戸田研究員は、昭和52年に成人訓練受講者の訓練ニーズを調査して「公共成人職業訓練の実態」と題する報告書にまとめているので本資料と併せて御参照頂くようお願いしたい。本資料が成人訓練の推進に少しでもお役に立ち、成人訓練担当の先生方から御意見、御助言を頂ければ戸田研究員にとって無上の励みになると思います。

昭和54年9月

職業訓練研究センター

基礎研究部長 泉 輝 孝

調査研究資料第28号

発行 昭和54年9月10日
発行者 職業訓練大学校
職業訓練研究センター

所長 宗 像 元 介

職業訓練研究センター

神奈川県相模原市相原1960
TEL (0427) 61-9911